2027年3月期 第2四半期（中間期）
決算説明資料

CREATIVE CONNECTIVITY
—Challenge, Creativity, Solutions

SMK株式会社（6798）
2026年10月30日

決算概要｜FY2026 第2四半期

- 売上高は円安影響もあり前年同期比7.1%増の247億円に、営業利益は構造改革プログラムによる固定費削減と原価率改善により、前年同期の△1.1億円から3.9億円の黒字に転換
- 経常利益は不動産収支等により5.6億円、当期純利益は2.5億円となり、売上・利益ともに前年同期および期初予想を上回って進捗

単位：百万円

	FY2025 上期 実績	FY2026 上期 実績	増減率	FY2026 上期 業績予想
売上高	23,152	24,793	+7.1%	24,000
営業利益 （営業利益率）	△117 (△0.5%)	397 (1.6%)	–	200 (0.8%)
経常利益	△125	561	–	400
中間純利益	△193	257	–	200
1株当たり中間純利益（円）	△30.63	40.71	–	31.60
為替平均レート（1USD=）	146.13円	160.25円		155.00円

セグメント別｜FY2026 第2四半期

- CS：モビリティ市場、産機市場が好調に推移し増収増益
- SCI：家電市場、モビリティ市場が好調に推移し、固定費削減と原価率改善により赤字幅を縮小
- イノベーションセンター：音声分析・筋電センサーに開発リソースを集中、固定費削減により赤字幅を縮小

単位：百万円

		FY2025 上期 実績	FY2026 上期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	コメント
CS 事業部	売上高	11,091	12,500	+1,408	+12.7%	■ 車載バッテリー、電装関連が拡大 ■ 再生可能エネルギー関連が好調 ■ スマートフォン、タブレット関連が減少
	営業利益	660	668	+7	+1.1%	
SCI 事業部	売上高	12,039	12,277	+237	+2.0%	■ サニタリー用、エアコン用リモコンが好調 ■ 車両用カメラモジュール、リモコンが好調 ■ E-Bike用ユニット･スイッチが減少
	営業利益	△533	△131	+402	―	
イノベーションセンター	売上高	21	15	△5	△26.6%	■ 前年6月より通信モジュール事業をSCIに移管
	営業利益	△244	△139	+104	―	
合計	売上高	23,152	24,793	+1,640	+7.1%	
	営業利益	△117	397	+515	―	
為替平均レート（1USD=）		146.13円	160.25円			

セグメント別｜FY2026 四半期別推移

- CS：モビリティ市場、産機市場が好調に推移、E-Bike関連の売上増もあり1Q比で増収増益
- SCI：家電市場、モビリティ市場が好調に推移し、1Q比で増収増益

単位：百万円

		FY2026		1Q比 増減額	1Q → 2Qのトレンド
		1Q	2Q		
CS 事業部	売上高	5,877	6,623	+746	■ 車載バッテリー、電装関連が拡大 ■ 再生可能エネルギー関連が好調 ■ E-Bike関連が増加
	営業利益	269	398	+128	
SCI 事業部	売上高	5,592	6,684	+1,092	■ サニタリー用、住設用リモコンが好調 ■ 車両用カメラモジュール、リモコンが好調 ■ E-Bike関連が増加
	営業利益	△188	57	+245	
イノベーションセンター	売上高	2	12	+10	■ 2Qは音声分析技術の売上計上
	営業利益	△74	△64	+10	
合計	売上高	11,472	13,321	+1,848	
	営業利益	6	391	+384	

市場別売上高｜FY2026 第2四半期

単位：百万円

	FY2025 上期 実績	FY2026 上期 実績	前年同期比		コメント
			増減額	増減率	
情報通信	3,196	2,318	△878	△27.5%	■ スマートフォン、タブレット関連コネクタが減少
家電	10,028	10,001	△27	△0.3%	■ サニタリー用、エアコン用リモコンが好調 ■ アミューズメント関連コネクタが減少
モビリティ	7,801	9,172	+1,370	+17.6%	■ 車載バッテリー、電装関連コネクタが拡大 ■ 車両用カメラモジュールが好調 ■ E-Bike用ユニット･スイッチが減少
産機・その他	2,126	3,301	+1,175	+55.3%	■ 再生可能エネルギー関連コネクタが好調
合計	23,152	24,793	+1,640	+7.1%	
為替平均レート（1USD=）	146.13円	160.25円			

地域別売上高｜FY2026 第2四半期

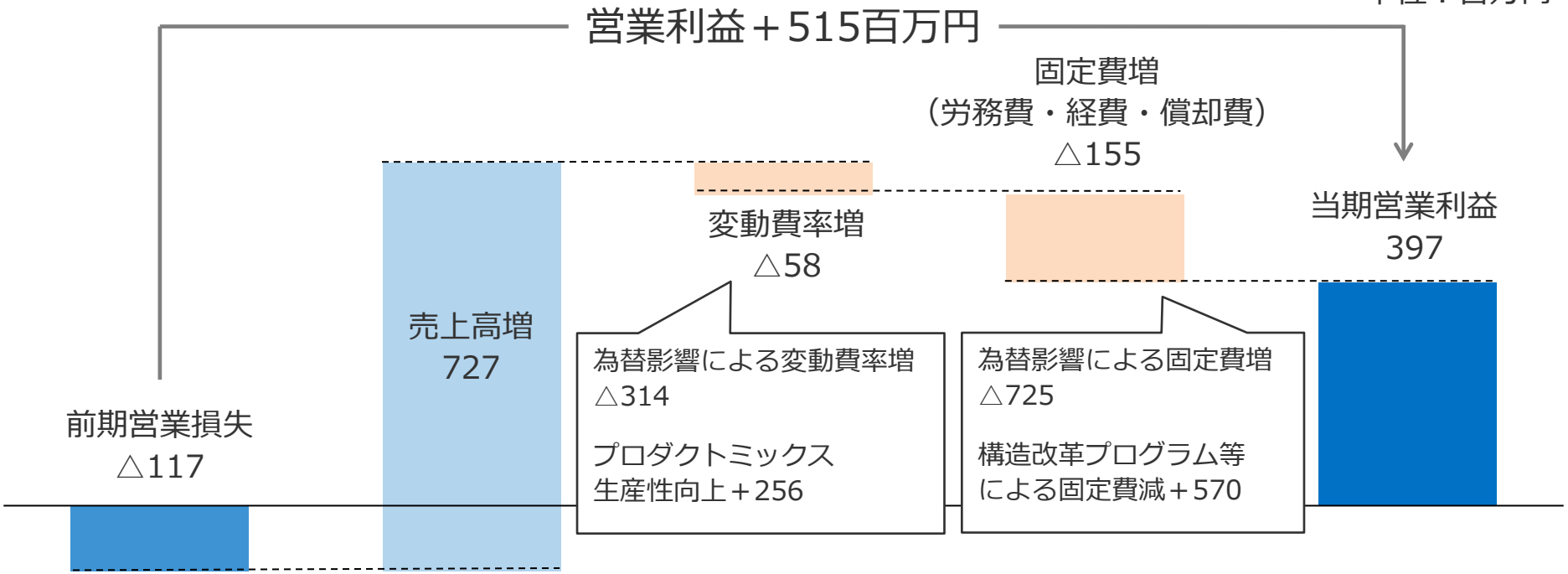
単位：百万円

	FY2025 上期 実績	FY2026 上期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	コメント
日本	8,214	9,064	+850	+10.4%	■ サニタリー用、エアコン用リモコンが好調 ■ E-Bike用コネクタ・ユニットが増加 ■ アミューズメント関連コネクタが減少
北米	4,878	4,346	△532	△10.9%	■ タブレット関連コネクタが減少
中国	4,959	6,163	+1,204	+24.3%	■ 再生可能エネルギー関連コネクタが好調 ■ 車載バッテリー関連コネクタが拡大
その他アジア（含む台湾）	4,145	3,988	△157	△3.8%	■ スマート家電用リモコンが減少 ■ スマートフォン用コネクタが減少
欧州	954	1,230	+275	+28.9%	■ 車載コネクタが増加
合計	23,152	24,793	+1,640	+7.1%	
為替平均レート（1USD=）	146.13円	160.25円	※地域別内訳数値は、社内管理数値を使用しております。		

営業利益増減｜FY2026 第2四半期（対前年同期）

- 為替影響としてRMB・RM高がマイナス要因となるも、売上増加と構造改革プログラムによる固定費削減、変動費率改善により、前年同期の△1.1億円から3.9億円の黒字に転換

単位：百万円



USD/JPY 為替感応度（1円当たり年間）
売上高 200百万円　営業利益 10百万円

期中平均レート	FY2025 4-9月	FY2026 4-9月	FY2026 期初予想
USD/JPY	146.13	160.25	155.00
USD/RMB	7.19	6.78	6.92
USD/RM	4.26	4.02	4.04

為替影響　営業利益インパクト

売上高	変動費率	固定費	合計
+743	△314	△725	△296
USD/JPY	USD/RMB	USD/RM	合計
+16	△260	△52	△296

業績予想｜FY2026 通期

- 通期業績予想は、2026/5/12公表の期初予想から修正なし
- 下期については、売上高は上期に対して若干減少するものの、利益面では売価アップなどによる原価率改善により上期並みを確保し、通期では期初予想並みの着地を見込む

単位：百万円

	FY2025実績	FY2026予想	増減率
売上高	48,204	49,000	+1.7%
営業利益 （営業利益率）	430 (0.9%)	800 (1.6%)	+86.0%
経常利益	1,243	1,200	△3.5%
当期純利益	56	800	―
1株当たり当期純利益（円）	8.87	126.41	―
配当金（円）	100.00 (中間 50/期末 50)	100.00 (中間 50/期末 50)	―
為替平均レート（1USD=）	150.66円	1H　160.25円 2H　155.00円	

※FY2026の中間配当金につきましては、2026年11月25日開催予定の取締役会における、臨時計算書類承認後の配当決議をもって、正式に決定する予定です。

Appendix：財政状態｜FY2026 第2四半期末

単位：百万円

	2026/3 (A)	2026/9 (B)	増減 (B) – (A)
資産	57,625	57,818	+193
現預金	9,673	9,649	△23
受取手形及び売掛金	13,301	12,547	△754
棚卸資産	6,741	7,488	+746
固定資産	26,780	26,823	+42
負債	26,468	26,912	+443
買掛金及び未払金	5,452	6,272	+820
有利子負債	14,213	13,736	△477
純資産	31,156	30,906	△250
資本金	7,996	7,996	–
自己資本比率	54.1%	53.5%	△0.6%

Appendix：キャッシュ・フローの状況｜FY2026 第2四半期

単位：百万円

	FY2025 4-9	FY2026 4-9
営業キャッシュフロー	1,068	1,807
税引前利益	△122	716
減価償却費	1,134	1,308
運転資金	1,228	800
退職給付に係る資産負債の増減額	△273	△400
事業構造改革費用の支払額	△743	△16
その他	△154	△600
投資キャッシュフロー	△1,125	△891
フリーキャッシュフロー	△57	916
財務キャッシュフロー	△1,188	△883
有利子負債の増減額	△616	△563
自己株式の増減額	△1	△1
配当金の支払金額	△571	△318
現金等換算差額	564	△90
現金等期首残高	10,415	9,594
現金等期末残高	9,734	9,536

注意事項

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えになられるようお願いいたします。